

2019年 春学期

社会科教材論 第1回

- **ガイダンス**
- **教材作りに関するビデオ視聴**

まず、自己紹介

A4用紙を4等分に

	フルネーム	
	学部学科	

自分の特徴や性格を
表すキーワードを書くこと

この授業で大切にしたい視点

1. 教材作りを単なるテクニツク的
な問題と考えないこと
2. 「良い教材って何だろう？」と
いう問いをめぐって、自分の心
境・考えの変化について、向き
合うこと
3. 完成品の教材の完成度よりも、
「教材を作るプロセス」に注
目・意識すること

シラバスについて

- 第1回 本授業の最終課題の共有。ビデオの視聴(有田和正について)
 - 第2回 学習者の疑問をもたらす教材作りについて
 - 第3回 面白いネタ探しのグループワーク
 - 第4回 グループごとでの教材アイデア発表と相互評価
 - 第5回 ネタを重視する社会科教材論への批判の検討(1):長岡文雄の場合
 - 第6回 ネタを重視する社会科教材論への批判の検討(2):森分孝治の場合
 - 第7回 討論形式の授業資料作り(1):討論形式の授業を分析する
 - 第8回 討論形式の授業資料作り(2):実際に討論をして、討論用の資料の構想を考える
 - 第9回 討論形式の授業資料作り(3):討論用資料を作成する
 - 第10回 討論形式の授業資料作り(4):20分の討論授業の実践と振り返り
 - 第11回 社会科のシミュレーションゲーム教材の体験(1):多文化共生社会のジレンマを体感する
 - 第12回 社会科のシミュレーションゲーム教材の体験(2):社会保障制度のジレンマを体感する
 - 第13回 最終的な成果物の作成(1):教材冊子アイデアの相互検討
 - 第14回 最終的な成果物の作成(2):教材冊子の完成とリフレクション
- 定期試験

全体の見通しが感じられること



**学びの目的や見通しを明示して、
「主体的で自覚的な学び」を促す**

この授業の最終的な目標

- **全員の教材のデータが収録された冊子を作ります。**
- **編集作業などもしてもらいます。**



冊子に載せる最終課題について①

【最終課題】

皆さんには、最終課題の冊子作成において、「この教材ができるまで」と題する報告レポートを書いてもらいます。

レポートの詳細は別に紹介しますが、大まかに分けて、

- ① 教材アイデアの概要、工夫
- ② この教材アイデアができるまでのプロセス

の二点を書いて、A4用紙×4枚程度にまとめてもらいます。



冊子に載せる最終課題について②

①教材アイデアの概要、工夫

- 学習者が疑問を抱けたり、その疑問を追究できたり、論争問題などの対立点などについて、色々な視点から考えられるような資料を作ってもらいます。
- 実際に作成して、簡単な実験をした上で、当日の報告に臨んで欲しい。



冊子に載せる最終課題について③

②この教材アイデアができるまでのプロセス

- そのアイデアを作るまでに、どういった点に悩んだか？他のどののような教材アイデアを見て、何に悩んだか？など、**今に至る気持ちの変化**を記述してもらいます。
- どんな書籍や資料を読んだり、どこかに足を運んだ上で、その教材ができたのかという、今に至る**調査のプロセス**を記述してもらいます。



最終目標の設定理由

- 自分の教材や考え方を他者が比較したり、参考にできるような、**学びを深める記録**を作るため。
- 自分が作った教材の良さや、概要、作成時の工夫などを**記録に残す**ため。
- 自分が作った教材に対して、**作成者が責任を持つ**ため。

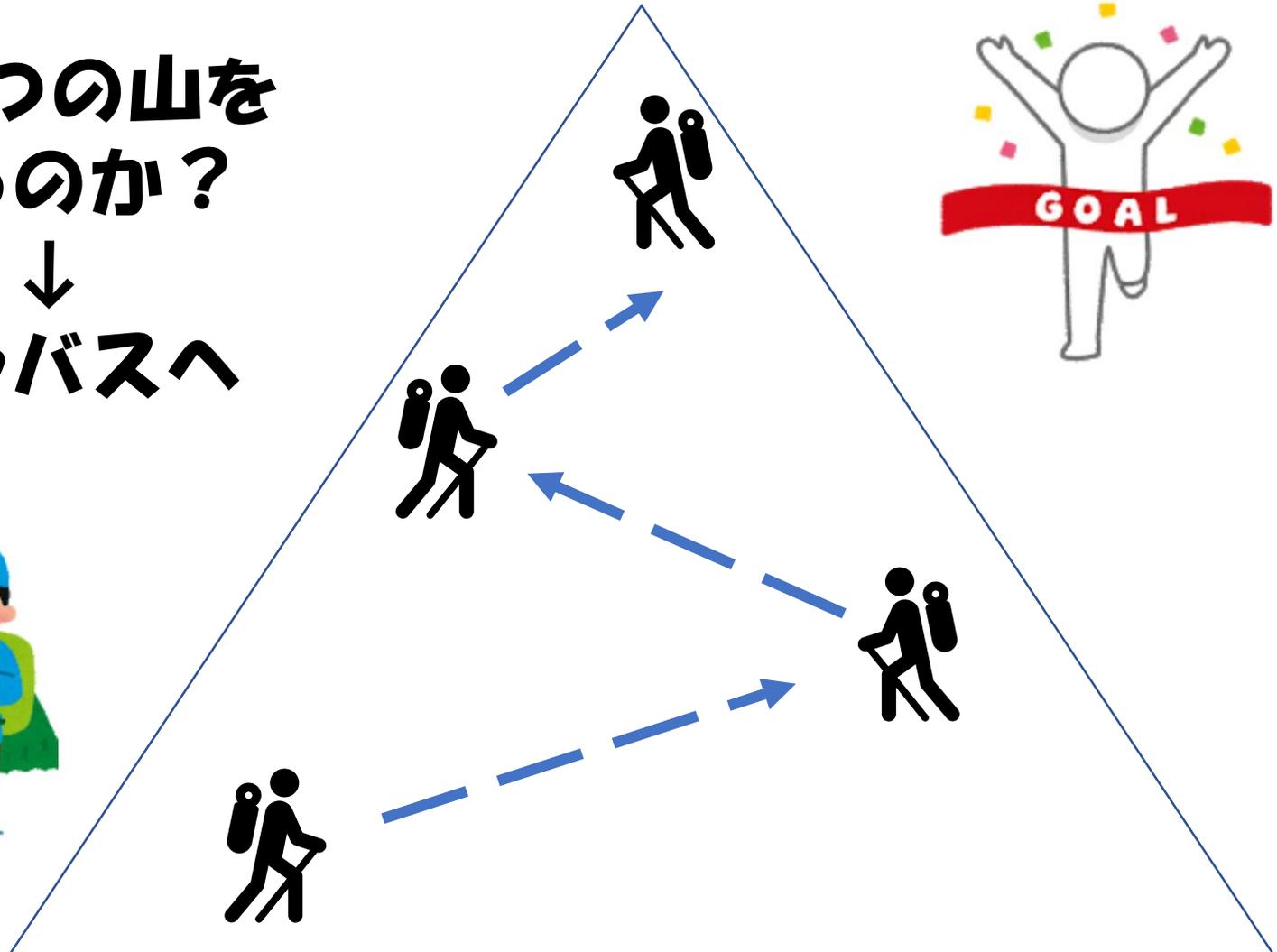


最終的な目標に向けて

いくつかの山を
登るのか？



シラバスへ



5つの単元に基づくシラバス構成

単元1: まずは、面白いネタ重視の授業教材を考える。

- 第1回 本授業の最終課題の共有。ビデオの視聴(有田和正について)
- 第2回 学習者の疑問をもたらす教材作りについて
- 第3回 面白いネタ探しのグループワーク
- 第4回 グループごとでの教材アイデア発表と相互評価



単元2: ネタ重視の授業でほんとにいいのか、立ち止まって考える。

- 第5回 ネタを重視する社会科教材論への批判の検討(1):長岡文雄の場合
- 第6回 ネタを重視する社会科教材論への批判の検討(2):森分孝治の場合



単元3: 討論形式の教材を作って、実際に実践→検証をしてみる。

- 第7回 討論形式の授業資料作り(1):討論形式の授業を分析する
- 第8回 討論形式の授業資料作り(2):実際に討論をして、討論用の資料の構想を考える
- 第9回 討論形式の授業資料作り(3):討論用資料を作成する
- 第10回 討論形式の授業資料作り(4):20分の討論授業の実践と振り返り



単元4: ゲーム感覚の違った授業も経験してみても、視野を広げる。

- 第11回 社会科のシミュレーションゲーム教材の体験(1):多文化共生社会のジレンマを体感する
- 第12回 社会科のシミュレーションゲーム教材の体験(2):社会保障制度のジレンマを体感する



単元5: これまでの学びの経験を踏まえて、アイデアをまとめ冊子にする。

- 第13回 最終的な成果物の作成(1):教材冊子アイデアの相互検討
- 第14回 最終的な成果物の作成(2):教材冊子の完成とリフレクション

単元1： まずは、面白いネタ重視の授業教材を考える。

- 第1回 本授業の最終課題の共有。ビデオの視聴(有田和正実践)
- 第2回 学習者の疑問をもたらす教材作りについて
- 第3回 面白いネタ探しのグループワーク
- 第4回 **グループごとでの教材アイデア発表と相互評価**

- 有田和正氏の「材料7分、腕3分」
「『はてな?』で追究力を育てる」
という授業論を学ぶ。
- ネタ重視の授業論について、皆さんの考えや経験を得てもらう。

単元2: ネタ重視の授業でほんとにいいのか、立ち止まって考える

第5回 ネタを重視する社会科教材論への批判の検討(1):長岡文雄の場合

第6回 ネタを重視する社会科教材論への批判の検討(2):森分孝治の場合

- 1~4回の授業で学んだ教材論に対する主な批判について学び、自分の考えをアウトプット・交流してもらおう。
- 「良い教材」についての考え方が、「良い授業」の考え方とセットになっていることを実感する。



単元3： 討論形式の教材を作って、実際に実践 →検証を試してみる。

第7回 討論形式の授業資料作り(1): 討論形式の授業を分析する

第8回 討論形式の授業資料作り(2): 実際に討論をして、討論用の資料の構想を考える

第9回 討論形式の授業資料作り(3): 討論用資料を作成する

第10回 討論形式の授業資料作り(4): 20分の討論授業の実践と振り返り

- 討論(ディベート形式)の授業に使えるような、授業資料を作成してもらいます。
- グループごとでお題を決めて、各自が本を読んだ結果を持ち寄って、資料づくりをしてもらいます。
- 実際に資料がうまくいくか、グループごとで模擬授業してもらいます。



単元4: ゲーム感覚の違った授業も経験してみても、視野を広げる。

第11回 社会科のシミュレーションゲーム教材の体験(1):多文化共生社会のジレンマを体感する

第12回 社会科のシミュレーションゲーム教材の体験(2):社会保障制度のジレンマを体感する

- 様々な教材作りのバリエーションを学ぶために、ゲーム形式の教材を体験します。
- ゲストティーチャーにも来てもらいます。

単元5: これまでの学びの経験を踏まえて、アイデアをまとめ冊子にする。

第13回 最終的な成果物の作成(1):教材冊子アイデアの相互検討

第14回 最終的な成果物の作成(2):教材冊子の完成とリフレクション

最終的な教材作成と

その発表を行って貰います。



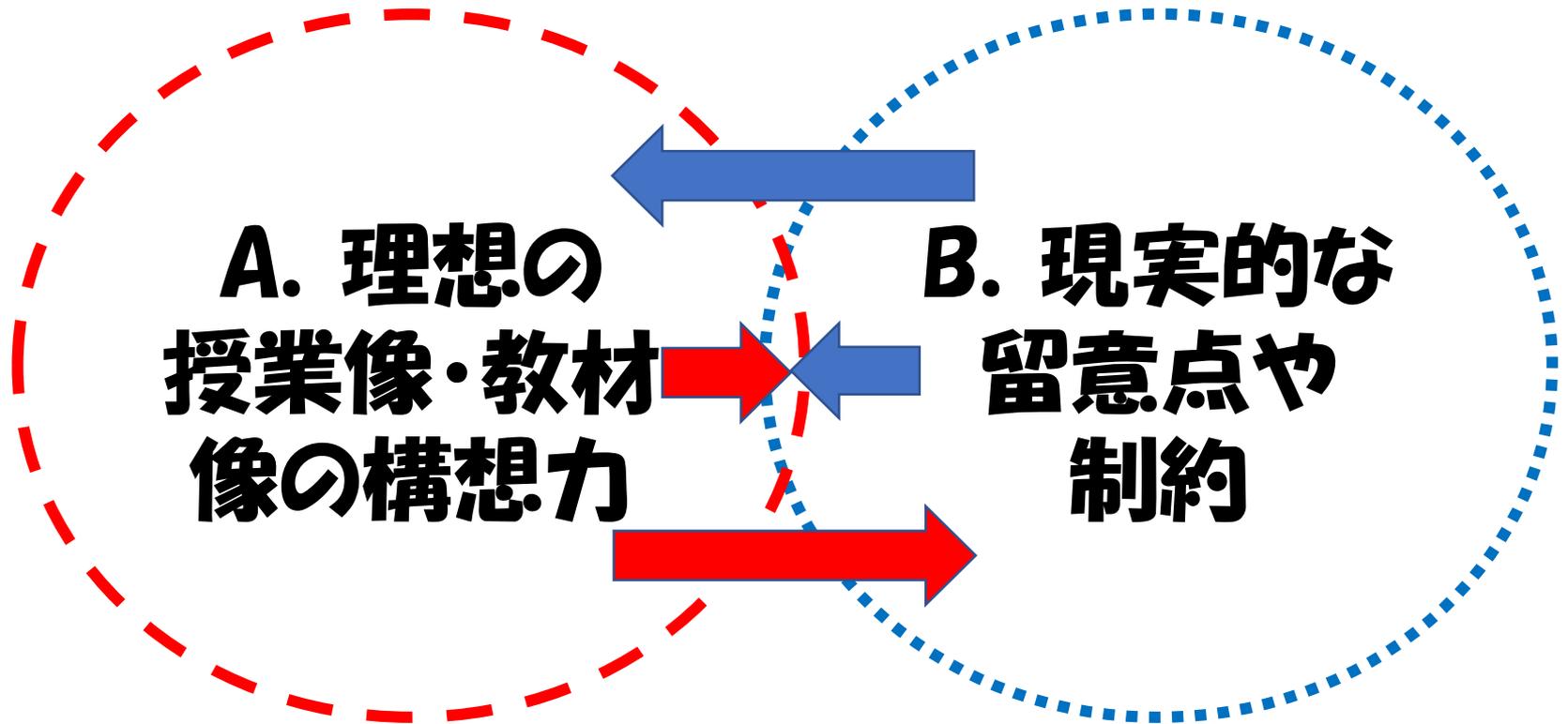
「振り返り・記録シート」について

この授業では、「自分の教材観から見える、授業観」を見つめることを重視します。

以下、活用の手順です。

1. 第2回目の授業の最後に「あなたにとって、良い社会科教材とは何ですか？」について皆さんの意見を書いてもらいます。
2. その後の授業では、「前回までの自分の意見について、違和感を持ったり、もっと詳しく述べたい点はありますか？細かなことでもいいので記録して下さい。」という問いをひたすら書き続けて欲しいと思っています。
3. 上手くいけば、教材の良し悪しを乗り越えて、あなた自身の授業観が14回の授業で浮かび上がってくるような気がします。

**理想と現実のギャップを直視しつつ、
理想を語ることから逃げない**



**この授業では、Aを特に大切にするが、
可能な限り、AとBの相互関係についても考えていきたい。**

その他、シラバスについて

1. 予習・復習について(シラバス参照)

2. 評価方法について(シラバス参照)

少しだけ
授業をやります。

教材作りに関する
ビデオ視聴

ビデオ視聴をしてもらいます。

●活動の目的

40分のビデオを見てもらい、「教師が教材研究をする」ということについて、皆さんなりの想像力をもってもらうこと。

●流れ

- ① 今から40分程度のビデオを観てもらいます。
- ② ビデオを見終わったら、アンケートを出してもらって、今日の授業は終わりです。
- ③ ビデオの感想について、次週に感想レポートを提出してもらいます。

次回までの課題

**ビデオ視聴をした感想をA4用紙一枚程度にまとめてくる。
書式は自由だが、二点には触れること。**

名前・学籍番号・学科

感想を600字～1000字程度。

「見て印象に残ったこと」
「自分の過去の授業経験を振り返って思ったこと」
の二点には言及して欲しい。

次回までの課題

【感想レポートの評価の視点】

- ① 自分独自の経験に紐づけて書けているか？
- ② 自分の主張を明確に打ち出せているか？
- ③ 自分の言葉で個性的に書けているか？

【感想レポートの作成の留意点】

- ① 前提として、正解となる回答はない。
- ② 多少極端でも良いから、明確な主張を述べること。
- ③ 読者が分かりやすいようなエピソードなどがあると良い。
- ④ 文章のスキル面(誤字脱字、改行、日本語の不備)は、チェックする場合があります。

※レポートは若干コメントして、後日に返却します。